



2023・6・20  
No.3

## スエTの科学の時間

昨年度に引き続きくま組では、早朝保育士の末広先生による「スエTの科学の時間」が始まりました。月に1回、日々の生活の中での不思議を科学的に体験していきます。前日から、「スエTの科学の時間って何するの!？」とドキドキしていた子どもたち。白衣姿のスエTが部屋に入ってくると、「え〜!!」「うわあ〜!!」と大興奮でした。第1回目は、「鳥の鳴き声」についてでした。実際に音源から鳥の声を聴き、声の聞き比べをしてみましたよ。

ツピーツ

ホーホケキョ・ケキョケキョ

キヨッキョツ

カアカア

ガアガア



シジュウカラ



うぐいす



ホトトギス



ハシブトガラス



ハシボソガラス

ググーググー

デーデーッポッパー

ピーヨピーヨ

チュンチュ

チュピチュピ



カワラバト



キジバト



ヒヨドリ



スズメ



ツバメ



スズメやツバメ、カワラバト、カラスは聞き覚えのある鳴き声で、すぐに答えていた子どもたち。聞いた鳴き声をそのまま真似する子どももいました。ウグイスは豊能町の鳥だということや、カラスの見分け方、ホトトギスは、ウグイスの巣に卵を産み、孵ったヒナは他の卵を落としてウグイスの親鳥からご飯をもらうことなど、はなしをきいて「へ〜!」と不思議そうにしていました。

その後は、「わたしのことり」という紙芝居をみました。迷子の小鳥に飛び方を教えてあげようとする女の子のお話でした。「もしも、道でヒナ鳥がいても、けがをしていなければ親鳥が近くにいるから拾わないで、見守ってあげてね。」と話を聞きましたよ。身近な鳥も、改めて鳴き声を聞いてみると新しい発見があり、その後にもらった鳥の冊子にも釘付けの子どもたちでした。ぜひ、耳を澄ませて聞いてみてくださいね!